



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 2-7, HARUOKA, 1CHOUME CHIKUSA-KU, NAGOYA, 464-0848 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2025/2026)

国際会長: Faith, Love, Action 「信念、愛、行動」 Together Stronger 「共に、より強く」

アジア太平洋地域会長: Act now with faith and love! 「信念と愛を持って行動しよう!」

西日本区理事: 世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう

中部部長: ワイズは YMCA とユースのために

名古屋クラブ会長: 人のつながりはワイズの宝 新しいうねりを超えて

2025 ~ 2026 2月号 (No948)



名古屋ワイズ
ホームページ

名古屋ワイズ
FACEBOOK

2月例会プログラム

とき: 2026年2月10日(火) 19:00 ~ 20:30

ところ: 名古屋 YMCA

開会宣言	司会 川本 龍資
ワイズソング	会長 加藤 明宏
聖書朗読・祈祷	戸田 真二
プログラム 世界の飢餓の要因とその現状、ハンガーゼロの取組み	佐味 健志氏 (国際飢餓対策機構 (ハンガーゼロ) 国内事業部・巡回牧師)
Y・ワイズと協働できること	ハッピーバースディ・諸報告・ニコボックス
閉会宣言	会長 加藤 明宏

今月は「TOF」例会です。食事はありません。食事代相当額を国際協会に献金します。
また公開講演会として在名2クラブや名古屋 YMCA 関係者へ広く参加を呼びかけます。

第2例会

とき: 2026年2月16日(月) 19:00~ 20:30

ところ: Zoom

プログラム: 今期プログラムと例会の持ち方、その他

3月号 原稿担当者

巻頭言 山川 潔 2月第1例会レポート 中井 信幸

寒い日が続きます。

冬の楽しみ方は何かありますか?

深 谷 聰

私は最近レコード鑑賞を楽しんでいます。レコードに針を落とすと、柔らかい音が寒い部屋に響き渡り、五感が刺激され好きな音楽と美味しいコーヒー (アルコール) で疲れた心を癒します。中学から集めたレコードは 2000 枚程になりました。最近はレコード店も増えてきて、世界どこへ行ってもレコード店に行くのを楽しみにしています。レコードジャケットは厚紙 30 センチの正方形で、気に入ったデザインの物は部屋に飾っても素敵です。時代と共に技術進歩で時代の流れが早すぎて焦りを感じます。携帯電話ひとつで何でも出来るこの便利社会に一手段掛ける喜びを見つける事が出来ました。

皆様も寒い冬の過ごし方を教えてください。

これから的人生を平安に過ごす為にもワイズメンクラブを通じて世界の仲間と一つになりましょう。

会長 加藤明宏

書記 川本龍資

副会長 都築正和

会計 平野実郎、谷川修

ブリテン 渡辺真悟、戸田真二、平野実郎

お年玉賀 - 切手当選はがき - 寄付のお願い

毎年恒例ですが ファンドに役立てる為、お年玉賀はがきの切手に当選された方は寄付をお願いいたします。

2月の第1例会に持参ください。

当選番号は下2けた 44、73、84 です

クラブ出席		1月個人出席						イベント出席		
在籍 (1名功労・広義会員)	16名	氏名	第1	第2	氏名	第1	第2	氏名	第1	第2
第1例会	12名	小 尾			谷 川	○	R	平 野	○	R
メネット	名	加 藤	○	R	都 築	○		深 谷	○	
ゲスト・ビジター	2名	川 口			戸 田	M	R	山 川	○	
第2例会	9名	川 本	○	R	中 井	○	R	渡 辺	○	R
メネット	0名	塩 田	○		中 村	○				
ゲスト・ビジター	0名	相 馬	○	R	西 村	M	R			
メーキャップ	2名									
出席率	93%	○出席 Rリモート出席 Mメーキャップ						ゲスト (敬称略): 講師: 鈴木清貴、清水淳中部部長 東海クラブ: 10名 グランパスクラブ: 11名		

■ ■ ■ 第 1 例会レポート ■ ■ ■

と き :2026年1月24日(土) 18:00.~20:00

ところ: ルプラ王山



清水 中部部長

1月の例会は名古屋地区のワイスメンズ3クラブ（東海、グランパス、名古屋）が集まり、新年合同例会として名古屋YMCAにほど近いルプラ王山で行われました。



加藤 名古屋会長

まず名古屋クラブの加藤会長が開会宣言・開会点鐘を行いワイスソング齊唱、聖書朗読・開会祈祷までは通常の例会と同じです。続いて加藤名古屋クラブ会長、神谷東海クラブ会長、早川グランパスクラブ会長からの挨拶があり、最後に富山から寒波襲来・大雪の間隙を縫って駆けつけて頂いた清水中部部長からの祝辞・挨拶を頂きました。



神谷 東海会長

そして本日のメインプログラムは「都市デザインの現場から」と言うテーマで鈴木清貴氏の講演です。氏は企業の設計・デザイナーとしてあるいは個人事務所の設計・デザイナーとして様々な公共空間の景観や施設の企画・設計・施工に長年携わってこられた方で



早川 グランパス会長

す。愛知・名古屋の人間なら誰でも知っている名古屋駅の「金時計」は氏の設計だそうです。個人的に興味深かったのは、孫と行った公園にあった赤い着色コンクリート



で作られた複雑に入り組んだ滑り台が氏の設計だそうで、通称「タコの滑り台」と呼ばれ全国で500基以上設置されているそうです。

講演の終わりに、これからのデザインに於けるAIの活用という話がありました。デザインの絵を書いたり設計図を作ったりコンピュータ上に構造物の3次元のデータを入れるのは手間のかかる作業ですが、それらを今のAIはいとも簡単に作ってくれる例を幾つか見せて頂きました。私も簡単な調べ物や作文の校正にはAIを使いますが、すごい速さでAIが進歩しているなと感じました。

最後は懇親会です。名古屋地区のワイスメンズクラブは所帯も大きくないので多くのメンバーが顔見知りでいっしょにYMCAやワイスの活動をする機会も多く、和気あいあいとした雰囲気の中で懇親を深めました。最後に各クラブのアピール、根の上を愛する会の解散と最後の寄付のお願いアピールが有りお開きとなりました。

(渡辺真悟)



会計より会費納入のお願い

会費は月額7,000円、年額84,000円です。できるだけ6ヶ月分42,000円を7月と1月に納入してくださるようにお願いします。(3ヶ月ずつ納入される方は7月、10月、1月、4月に納入して下さい)

ゆうちょ銀行 記号 12120 番号 82306781 なまえナゴヤワイスメンズクラブ

ブリテン委員よりお願い

各号に例会以外の活動報告を掲載しておりますが、全て当委員で把握出来ておりません。ワイスやYMCA関係の行事に参加された方は その旨ブリテン委員にお知らせください。よろしくお願いします。

名古屋ワイス

ホームページとフェイスブックの紹介

名古屋ワイスメンズクラブの様々な情報はパソコンからは

<https://nagoya-club.wixsite.com/toppage>

FACEBOOK: 名古屋ワイスメンズクラブと検索スマホからは1p表題にあるQRコードをスキャンすれば見ることが出来ます。一度覗いてみて下さい

■ ■ ■ 第 2 例会レポート ■ ■ ■

と き:2026年1月19日(月) 19:00～20:30

ところ:オンラインにて

○ 1月以降の例会 内容

● 1月例会 1月24日(土) 18:00～ 新年合同例会※

● 2月例会 2月10日(火) 19:00～

TOF例会(公開講演会)

場 所:名古屋 YMCA 本館 5F

講 演:世界の飢餓の要因とその現状、ハンガーゼロの取組

講演者:佐味 健志氏(国際飢餓対策機構:ハンガーゼロ

国内事業部・巡回牧師)

担当者:川本(他ワイス・Y職員への呼びかけ案内 配布済)

食事なし、イス席のみ

ピンクシャツデー(2/25)を意識し、各自ピンクの物を着衣して例会に出席する。

● 3月例会 3月10日(火) 19:00～

場 所:名古屋 YMCA 本館 5F

卓 話:「導かれて・・・スズカトにて」

講演者:三枝 隆氏(名古屋 YMCA スズカト担当)

担当者:中井

● 2026年4月以降の候補

牧野和博氏 入会候補者 元名古屋ワイス担当主事

DVD鑑賞会 「希望の灯を灯す」故中村哲さんの記録

○ 千賀 将氏 入会式について(平野)

2月第一例会時に入会式を実施する方向で進める。(千賀氏との調整:平野)

○ 次期中部の体制について(川本)

3月7日(土) 次期会長・主査研修会開催。

人事体制:1月25日までに中部評議員会メンバーを決定。

中部部会:2026年10月31日(土) 場所:スズカト開催を検討中。日時は決定済み。

○ 根の上を愛する会について

根の上キャンプ場閉鎖に伴う資金集めについて、1月合同例会にて各ワイスにアピールする。

○ 3.11 東日本大震災犠牲者追悼式 あいち・なごやについて

3月11日(水)鶴舞公園にて開催。詳細は下記 URL 参照

<https://tsuitou-aichinagoya.jimdofree.com/>

○ 名古屋 YMCA・ワイスの今後の予定

2月25日(水)ピンクシャツデー(前後1週間:ピンクシャツウイーク)

3月22日(日)名古屋 YMCA リーダー感謝会(於)南山ファミリー YMCA

6月 6日(土) 東日本区大会(石巻市河北総合センター)

6月13日(土) 西日本区大会(なら100年会館・ホテル日航奈良) (川本龍資)

ハッピーバースデイ

メン 川口 恵、川本 龍資、相馬 静香、
戸田 真二

メネット 都築 啓湖、戸田 寛恵

■ ■ ■ 15年目の3.11 今年も開催 3.11 東日本大震災犠牲者追悼式あいち・なごや ■ ■ ■

あの日、日本中を震撼させた東日本大震災、被災者の心情を思い、何かせねばと多くの人たちが考え、いても立ってもいられない気持ちを抱いたことでした。私もその一人です。

すぐに被災地に出向いての行動がとられました。YMCAも故成瀬理事を含むワイスメンも、私の職場のキリスト教社会館も、それぞれの立場で支援活動を展開しました。

2年後、現地での活動と並行して、犠牲者追悼の場を、愛知名古屋でも開催したいという話が出てきました。仙台市出身で東北物産の販売で被災地、被災者を応援しようという“みちのく屋”的の大将の発案だったと記憶しています。すぐに、震災支援活動等を展開する YMCA ほか 10 ほどの団体が集まり、表記の追悼式を3月11日に開催することになりました。この13年の間に、実行委員会から離れた団体もあれば、新たに加わった団体もあります。愛知県には未だに 300 を

超す世帯が、震災によって、また、原発事故による放射能汚染の脅威から逃れ、住み続けています。

この追悼式は、主義主張を超え、純粋に被災者を追悼すること、それを目的に毎年開催してきました。15年の歳月は、あの脅威、被災地、被災者への心配り、心寄せを減退させ、風化といった状況を生みだしているかのようです。しかし、大きな自然災害はその後も日本各地で毎年おこっており、東日本大震災を超えるような大規模な災害が近い時期に起こる危険が叫ばれています。

改めて、15年前の東日本大震災を思い起こし、犠牲者への追悼を通して、次に起こる大きな自然災害への備えとする、是非、そんな機会を共にして貰えればと願います。

式典は2026年3月11日(水)第一部午後2時～、第二部午後5時～ 鶴舞公園普選壇で行われます。(谷川 修)



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

今月の聖句

「心の貧しい人々は、幸いである。天の国はその人たちのものである。」

(マタイによる福音書 5:3)

西 村 清

マタイによる福音書5～7章は、昔から「山上の垂訓」と呼ばれ、また最近は「山上の説教」と呼ばれるようになりました。「垂訓」という表現は、ともすれば、道徳的教訓と考えられますが、しかし「説教」は倫理道徳の教訓を垂れる、というのとは違い、神の救いのわざを宣べ伝えるということなのです

さて、わたしたちは、意味ある人生を送りたいと願っています。長く生きれば生きるほど、悩みを抱えてることもあり、後悔を引きずっていることもあります。それでも、生きていて良かったと思える人生を送りたいと願うのです。しかし、あまりにも悲惨な経験をすると、生きていてなんになるのかという、追い詰められた気持ちになってしまいます。石川正一さんは23歳で生涯を閉じられた方です。彼は筋ジストロフィー（進行性筋萎縮症）という病気になり、筋肉に栄養がゆきわたらぬためにおこる病気で、足から次第に痩せ衰えてゆき、やがて全身の筋肉が萎縮し身動きできなくなってしまいます。心臓も筋肉ですから、やがては死を迎えることとなります。

「ぼくなんか生まれてこなければよかった」と大きな声で叫んだのです。正一がそんな言葉を口にしたのは最初のことです。誰にあたることも出来ず、洋間の床の上をゴロゴロとろがり、じゅうたんをもみくちゃにしながら、泣きはらした顔を母親が見たとき、「さすがに胸がつまりました。信仰のたりないわたしのこと、とっさになだめすかす術もわからず、子どもと一緒に泣き崩れてしまいました。」

わたしたちは、たとえ順風満帆な人生を歩んでいたとしても、突然の事故や自然災害で、その全てが崩壊するかもしれない、そんな不安定な命を生きています。そのような中で、意味ある人生を送りたいという願いをどのように満たすことができるのでしょうか。

そんな問い合わせを持つわたしたちにとって、今日の聖書のイエスの語られる幸いな人々というのは、その冒頭から意外すぎます。「心の貧しい人々は、幸いである。天の国はその人のものである。」

(3月号へ続く)

YMCA ニュース

スポーツの祭典

YMCAではスキーキャンプのシーズンを迎え、1月から3月にかけて白馬、木曽福島、やぶはら高原、白樺高原、志賀高原にて実施します。スキーはスポーツである以上、怪我の可能性もありますが、安全面に十分配慮しながら実施していきます。今年は、2月にミラノ・コルチナ冬季オリンピックが開催され、もちろんスキー競技も行われます。さらに3月にはWBC、6月にはワールドカップと、スポーツの世界大会が目白押しです。愛知では9月にアジア大会も予定されています。スポーツ観戦が大好きな私にとって、今からとても楽しみです。また、今年の箱根駅伝では、大逆転で青山学院大学が優勝しました。山登り区間での尋常ではないスピードは、それまで積み重ねてきたトレーニ

ング、いわゆる「青学メソッド」に裏付けられた成果だと思います。一方、帝京大学は「世界一あきらめの悪いチーム」をスローガンに掲げ、往路17位から復路の繰り上げスタートを経て、箱根史上初となる9位に入り、来年のシード権を獲得しました。スローガンを掲げるだけでなく、それを実践するだけの練習を積み重ねてきた結果だと感じます。これから実施されるスキーキャンプもまた、企画や運営、日々のトレーニングといった地道な積み重ねの上に成り立っており、そうした裏付けがあってこそ、初めて「楽しいキャンプ」になるのだと思います。その積み重ねにも思いをはせながら、これからスポーツ観戦を楽しみたいと思います。

(中井信幸)